

街の活力は  
自立と創造から

# あのまちこの街



門前通西側のアーチ、その先が豊川稲荷総門

## 豊川稲荷周辺の商店街

(愛知県豊川市) イメージキャラクター「ごんじい」



愛知県東部、いわゆる奥三河にある豊川市。人口約十二万人で、地域全体としては増加傾向にある。名古屋から鉄道で一時間ほど。豊川稲荷の門前町として知られてきたが、戦後は巨大な海軍工廠跡地に工場が立地し、工業都市の側面が強くなっている。

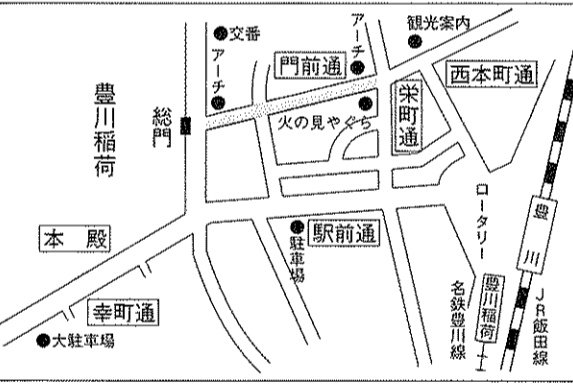
豊川稲荷はかつて年間六百万人といわれる参拝客が訪れていたが、国民の信仰心の衰えや参拝に替わるレジャーの普及等から現在は激減。また、地域住民の高齢化も進行している。

豊川稲荷周辺の商店街も、空き店舗が目立つようになった。空洞化の危機に直面して、従来あまり連携のなかった各商店街の若手が結束し、活性化の切り札を検討した。

その結果、店舗改装やハード事業ではなく、現状の資源を活用する「レトロな商店街」を打ち出した。十五年より、店主たちの手作りとボランティアの動員により、費用をかけたイベント「いなり楽市」を三月十一日の毎月開催。集客数は増加傾向にある。売上にも結びついている。

こうした取組みが評価され、豊川市が国に申請した「とよかわいナリズム」が、十六年、地域再生計画として認定された。

充実した自製ホームページにも注目すべきものがある。金をかけて知恵と汗を流して活性化を図る豊川稲荷周辺商店街の取組みを紹介する。



豊川稲荷周辺商店街

JR豊川線  
豊川稲荷駅

本殿  
幸町通  
駅前通  
西本町通  
門前通  
栄町通  
火の見やぐら  
観光案内  
文番  
アーチ



豊川稲荷本殿

補助金には頼らない

楽市は、補助金等に頼らない。頼ってしまうと、押し出している。店舗外観の統一化など、プロに頼まない。ちんどん屋を演じているのは、商店主たち。演奏会は学校の音楽系クラブやアマチュア楽団のボランティア。他にも常時ボランティアのパフォーマンスを募集。これらボランティアの安定的確保が大きな課題になっている。



門前通東側のアーチと案内板

豊川稲荷美人おかみ会・稲美会（いなみか）

頼らず会員



統一した袖看板

昔の旅館を利用した店舗

## 「レトロな商店街」

### 参拝客激減の危機をバネ 既存店舗でイメージ一新

豊川稲荷周辺には、複数の商店街の振興組合、協同組合、任意会がある。駅から豊川稲荷総門に至る「表参道」の商店街は参拝・観光客が、それ以外の商店街は地域住民が主な対象という認識がある。

豊川稲荷周辺には、複数の商店街の振興組合、協同組合、任意会がある。駅から豊川稲荷総門に至る「表参道」の商店街は参拝・観光客が、それ以外の商店街は地域住民が主な対象という認識がある。

豊川稲荷周辺には、複数の商店街の振興組合、協同組合、任意会がある。駅から豊川稲荷総門に至る「表参道」の商店街は参拝・観光客が、それ以外の商店街は地域住民が主な対象という認識がある。

補助金よりも智恵と熱意にぎやかイベントで集客

豊川稲荷も参拝客半減

商売繁盛の神として全国に知られる豊川稲荷。実は豊川開妙厳寺という曹洞宗の寺院なのだ。寺の本尊を守護する通称豊川稲荷の方が有名になった。奥には深山幽谷を思わせる森の中に神秘的な霊狐塚、奥の院などがあり、観光資源としての価値も高いが、観光の立場からはそれほどPRされてこなかった。

豊川稲荷周辺には、複数の商店街の振興組合、協同組合、任意会がある。駅から豊川稲荷総門に至る「表参道」の商店街は参拝・観光客が、それ以外の商店街は地域住民が主な対象という認識がある。

ソフト事業で復活を

危険感を強めた商店主たちは、「何か具体的なことをやらなければ」と考えた。その結果の一つが、「いなり楽市」として平成十五年からスタート。その考え方は次のとおりである。

「今さら借金を作ったり、ハード整備よりソフト事業に。」

初詣時期に売上が集中するというのが問題点への対応として、三月十一日の毎月イベントに。

イベントを打つことで、地元では意外に知られていない豊川稲荷を再認識してもらい、地元客を呼び戻すことも意図した。商店自体の意識の活性化も図ったという。

併せて、表参道を「レトロな商店街」「なつかし青春商店街」と銘打って、日常から昔ながらの店舗・備品・商品などをそのまま観光資源として活かした。火の見やぐらも昔のまま残る。楽市の時にも「レトロ」を全面に押し出している。

店舗外観の統一化など、プロに頼まない。ちんどん屋を演じているのは、商店主たち。演奏会は学校の音楽系クラブやアマチュア楽団のボランティア。他にも常時ボランティアのパフォーマンスを募集。これらボランティアの安定的確保が大きな課題になっている。



昔のおもちゃが書店内に展示

昔の街の写真、電話器、そろばん、いろりなどが道具店に

屋外イベントのため天候に左右されるが、集客数は一〜二万人で毎回増えている。この個店が「なつかし青春割引」を実施する。

直接売上に結びつく仕

ホームページも自製

実働部隊である「いなり」(藤井智香子代表)り楽市実行委員会(鈴木達也会長・寝具店経営)は「表参道発展会」が母体だが、より広く会員を募集。若手から中堅の商店主が中心になり、多忙な中、毎週会合を開きアイデアを練っている。

メンバーは重複するが、五商店街から成る「豊川地区商業観光活性化委員会」は「ホームページ」おきつネット」の運営、パフレット作成など、豊川地区の宣伝広告を自ら行っている。

「豊川稲荷美人おかみ会・稲美会(いなみか)頼らず会員

「おきつネット」は豊川地区商業観光活性化委員会 電話 〇五三三八九一四一八七

「おきつネット」  
http://www.fc.biglobe.ne.jp/okitsu-net/  
http://www.yui.or.jp/hami/

店主たちが扮するちんどん屋

豊川東部中学校プラス部